

「2020年オリンピック・パラリンピック」を見据えた観光振興

【概要】

○「観光立国推進閣僚会議」で「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」を平成27年6月に決定。
 ○同プログラムにおいて、2020年に向けて訪日外国人旅行者数「2000万人時代」の早期実現を図ることとし、『「リオデジャネイロ大会後」、「2020年オリンピック・パラリンピック」及び「その後」を見据えた観光振興』を柱立てし、**①オリンピック・パラリンピック開催をフルに活用した訪日プロモーション、②全国各地での文化プログラムの開催、③オリンピック・パラリンピックを機に訪日する外国人旅行者の受入環境整備、④オリンピック・パラリンピック開催効果の地方への波及、⑤ユニバーサルツーリズムの普及促進**等の観点から取組を推進。

①オリンピック・パラリンピック開催をフルに活用した訪日プロモーション

戦略的な訪日プロモーションの実施 等
 (例) 2016年リオデジャネイロ大会や2018年平昌大会など大規模スポーツ国際競技大会の機会、日本人メダリスト・アスリートの活用

②全国各地での文化プログラムの開催

文化プログラムの機会を活用し、日本文化等の魅力を発信 等
 (例) 世界に誇るべき有形・無形の文化財や、季節感一杯の祭り・花火、地域の伝統芸能、食

③オリンピック・パラリンピックを機に訪日する外国人旅行者の受入環境整備

- ・無料公衆無線LAN環境整備
- ・多言語対応の改善・強化
- ・東京駅の案内等の改善
- ・決済環境の改善
- ・通訳案内士、ボランティアガイドの活用
- ・外国人旅行者の災害対応
- ・宿泊施設の供給確保及び情報提供 等

④オリンピック・パラリンピック開催効果の地方への波及

- ・スポーツ振興を通じた国内外からの誘客
- ・地方への旅行の促進（広域観光周遊ルート 等）
- ・ホストシティ・タウン構想の推進 等



メディアに向けての情報発信
 (オンラインメディアセンター)
 <英国政府観光局の例>



© Chris Christodoulou

英国全土で開催された文化プログラム

⑤ユニバーサルツーリズムの普及促進

高齢者・障がい者等を含む誰もが安心して旅行を楽しむことができる環境の整備